

施策評価シート	評価対象年度		2023年度	計画	3年目	この施策を記入する課等												総務課	
	評価者	評価者	総務部長		担当者	担当者	総務課長				担当者								
基本目標	5	安全・安心で快適な生活と美しい自然環境がともにあるまち																	
基本施策	8	安全・安心で心穏やかに暮らせるまちづくり																	
施策	15	総合戦略	防災体制の充実																
施策の目指す姿		【自助・共助・公助】の意識を共有し、日頃から災害に対する備えが十分になされ、災害が起きた後、速やかに復旧・復興ができ、地域の防災力が充実しているまちを目指します。																	
SDGSとの関連	(目標)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
		貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	水・衛生	エネルギー	経済成長・雇用	インフラ・産業化・イノベーション	不平等	持続可能な都市	持続可能な生産と消費	気候変動	海洋資源	陸上資源	平和	実施手段・パートナーシップ	
成果指標		指標名				単位	現状値(年度)	実績値		目標値(2025)		達成率	達成率の主な要因等						
		「防災体制の充実」の満足度				%	35.1 (2019)	42.4 (意識調査'23)		40		106	コミュニティタイムラインの作成など、新たな取り組みが評価されている。						
		「災害に対する備えを行っている」人の割合				%	31.8 (2019)	40.8 (意識調査'23)		35		116.6	広報誌での啓発と全国で頻発する災害への危機感						
プロセス指標	達成率評価	指標名				単位	現状値(年度)	実績値		目標値(2025)		達成率	達成率の主な要因等						
	C	地域の自主防災組織による防災訓練（災害図上訓練を含む）実施自治会数				町	62 (2019)	65		69		94.2	市からの働きかけや、防災意識の高まりから継続して実施できている町が多い。						
	C	地域防災マップ更新自治会数				町	63 (2019)	31		69		44.9	変更がない自治会は、マップの提出はないが、見直しがされている自治会もある。						
施策に関連する主な事務事業の評価																			
事務事業名(◆実計)	I 必要性	II 有効性	III 効率性	評価コメント										今後の方向性 事業コスト					
防災危機管理事業	必要不可欠	大変有効	変わらない	地域防災力のさらなる向上にむけ、施策目標である自主防災組織による防災訓練の目標達成に向けた取組み、コミュニティタイムラインの作成地区を増やすための検討が必要。										拡充	現状維持				
◆防災施設整備事業	必要不可欠	大変有効	変わらない	災害発生時に被害を最小限に止めるため、引き続き施設、設備の充実を行う。										現状維持	現状維持				

[illegible]

施策評価シート	評価対象年度		2023年度	計画	3年目	この施策を記入する課等												消防本部（各課）			
	評価者	評価者	消防長			担当者		消防次長兼消防署長				担当者		消防本部予防課長							
	評価者	評価者				担当者		消防本部警防課長				担当者		消防本部総務課長							
基本目標	5	安全・安心で快適な生活と美しい自然環境がともにあるまち																			
基本施策	8	安全・安心で心穏やかに暮らせるまちづくり																			
施策	16	総合戦略	消防・救急体制の充実																		
施策の目指す姿		広域連携での消防・救急体制や設備が整い、安心して暮らせるまちを目指します。																			
SDGSとの関連	(目標)	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	水・衛生	エネルギー	経済成長・雇用	インフラ・産業化・イノベーション	不平等	持続可能な都市	持続可能な生産と消費	気候変動	海洋資源	陸上資源	平和	実施手段・パートナーシップ			
		1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 良好な健康と福祉を達成	4 質の高い教育をみんなに	5 男女の平等をすすめる	6 安全な水とトイレを世界中に	7 持続可能なエネルギーを	8 豊かさをくらしを向上させる	9 産業と雇用を創出	10 人や国々の間での格差をなくす	11 安全で持続可能な都市を	12 持続可能な消費を	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正を	17 パートナーシップで目標を達成しよう			
成果指標	指標名						単位	現状値(年度)		実績値		目標値(2025)		達成率	達成率の主な要因等						
	「消防・救急体制の充実」の満足度						%	48.2（2019）		52.6（意識調査'23）		50		105.2	市民の安心安全を確保するため、消防・救急の高度化を進め対応力の強化に努めている。						
プロセス指標	達成率評価	指標名						単位	現状値(年度)		実績値		目標値(2025)		達成率	達成率の主な要因等					
	C	消防団協力事業所・消防団サポート事業店数						件	41（2019）		43		48		89.6	事業所数は微増し一定の理解は得られている。広報を徹底し当該制度の認知を高める。					
	C	消防団員数						人	866（2019）		637		881		72.3	新規入団者が少なく減少傾向にあるなか、機能別団員の入団が一定数ある。継続して自治会及び事業所と連携し取り組んでいく。					
	C	応急手当講習受講者数						人	7,217（2019）		7,974		8,967		88.9	目標に向けての進捗割合は低いが、応急手当の必要性は浸透していると考えており、総合的な救急体制の強化を図る。					
施策に関連する主な事務事業の評価																					
事務事業名(◆実計)	I 必要性	II 有効性	III 効率性	評価コメント											今後の方向性 事業コスト						
◆消防機械力整備事業	必要不可欠	有効	やや向上	機械の維持管理の徹底を図り、車両更新計画の見直しを行う。（更新時期の先送り）											現状維持	現状維持					
消防団運営事業	必要不可欠	有効	やや向上	消防団員数は減少しており、定数に満たない状態である。入団の促進は喫緊の課題であり、特に若者の入団促進に力を入れていかなければならない。											現状維持	現状維持					
◆消防団機械力整備事業	必要不可欠	大変有効	やや向上	更新計画に基づき、助成事業を活用し更新した。今後は更新計画の見直し（先送り）の検討を行う。											現状維持	現状維持					
消防施設管理事業	必要不可欠	有効	やや向上	施設の長寿命化のため、維持管理の徹底を図りながら、効果的な施設修繕を行う。											現状維持	現状維持					
◆消防施設整備事業	高い	有効	やや向上	消防庁舎も建設から30年が経過し、長寿命化を見すえ抜本的な改修の計画を立てる時期にきている、有利な財源を活用し早めの整備に努めることが必要。											現状維持	現状維持					
水防対策事業	必要不可欠	大変有効	変わらない	出水期前に水防資機材の整備を図り、災害時の活動に万全を期す。											現状維持	現状維持					
小布施分署運営事業	必要不可欠	大変有効	変わらない	住宅用火災警報器の設置指導を継続的に実施する。防火対象物及び危険物施設の立入検査による違反是正を強化し、改修改善を進める。											現状維持	現状維持					
高山分署運営事業	必要不可欠	大変有効	やや向上	住宅用火災警報器の設置指導を継続的に実施する。防火対象物及び危険物施設の立入検査による違反是正を強化し、改修改善を進める。											現状維持	現状維持					

[illegible]

施策評価シート	評価対象年度		2023年度	計画	3年目	この施策を記入する課等													市民課/道路河川課			
	評価者	評価者	市民環境部長			担当者		市民課長					担当者									
	評価者	評価者	まちづくり推進部長			担当者		道路河川課長					担当者									
基本目標	5	安全・安心で快適な生活と美しい自然環境がともにあるまち																				
基本施策	8	安全・安心で心穏やかに暮らせるまちづくり																				
施策	17	交通安全対策の推進																				
施策の 目指す姿	市民を交通事故から守り、安全に安心して外出できる道路交通環境の整備を推進するとともに、一人ひとりが交通安全とマナーを守るまちを目指します。																					
SDGS との関連	(目標)	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	水・衛生	エネルギー	経済成長・雇用	インフラ・産業化・イノベーション	不平等	持続可能な都市	持続可能な生産と消費	気候変動	海洋資源	陸上資源	平和	実施手段・パートナーシップ				
																						
成果指標	指標名				単位	現状値(年度)		実績値		目標値(2025)		達成率	達成率の主な要因等									
	市内での交通事故発生件数				件/年	116 (2019)		106		75		70.8	啓発活動による安全運転意識の向上と道路環境の整備等によるものと考えられる									
	市内での交通死亡事故件数				件/年	(2019)							安全運転意識の向上と危険運転者の減少によるものと考えられる									
	「交通安全対策の推進」の満足度				%	26.3 (2019)		33.7		(意識調査'23)		30	112.3	道路整備状況の推進と交通安全意識の浸透によるものと考えられる								
	「交通マナーを守っている」人の割合				%	86.5 (2019)		86.6		(意識調査'23)		90	96.2	交通安全に対する意識の醸成が進んだものと考えられる								
プロセス 指標	達成率 評価	指標名				単位	現状値(年度)		実績値		目標値(2025)		達成率	達成率の主な要因等								
	C	各種広報、街頭啓発、講習会などの実施回数				回/年	50 (2019)		57		65		87.7	各種ボランティアの協力による街頭啓発の開催によるもの								
	C	免許返納者数（75歳以上）				人/年	166 (2019)		146		200		73	返納後の移動手段の確保に対する不安などから返納に至らない者が一定程度存在するためと思われる								
施策に関連する主な事務事業の評価																						
事務事業名(◆実計)	Ⅰ 必要性		Ⅱ 有効性		Ⅲ 効率性		評価コメント										今後の方向性 事業コスト					
交通安全対策事業	必要不可欠		有効		変わらない		市民の生命に直接関与する事業であり、警察をはじめとした関係機関、地域活動団体と連携する必要あり										現状維持	現状維持				
◆交通安全施設整備事業	高い		有効		変わらない		市民の生命に直接関与する事業であり、警察をはじめとした関係機関、地域活動団体と連携する必要あり										現状維持	現状維持				

[illegible]

施策評価シート		評価対象年度		2023年度	計画	3年目	この施策を記入する課等												市民課	
		評価者	評価者	市民環境部長			担当者		市民課長			担当者								
基本目標		5	安全・安心で快適な生活と美しい自然環境がともにあるまち																	
基本施策		8	安全・安心で心穏やかに暮らせるまちづくり																	
施策		18	消費生活の安全確保と意識向上																	
施策の目指す姿		消費者情報の提供や地域との連携により、消費者の安全を守るとともに、環境・社会に配慮した消費生活を送るまちを目指します。																		
SDGSとの関連		(目標)	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長・雇用	9 インフラ・産業化・イノベーション	10 不平等	11 持続可能な都市	12 持続可能な生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実施手段・パートナーシップ	
成果指標		指標名						単位	現状値(年度)		実績値		目標値(2025)		達成率	達成率の主な要因等				
		消費生活相談件数							件/年	255 (2019)		256		250		97.7	架空請求の相談は減少しているものの、通販に関連する相談は増加傾向である。			
プロセス指標		達成率評価	指標名					単位	現状値(年度)		実績値		目標値(2025)		達成率	達成率の主な要因等				
		A	消費生活に関する講座への参加者数					人/年	195 (2019)		756		250		302.4	市内の中高校生（93人、563人）及びシルバー世代（100人）を中心に消費生活講座を実施した				
		A	各種広報、街頭啓発、講習会などの実施回数					回/年	49 (2019)		129		60		215	各種媒体（ブログ53回、介護保険教室等24回、防災行政無線31回）を通じて広報を実施				
施策に関連する主な事務事業の評価																				
事務事業名(◆実計)			Ⅰ 必要性		Ⅱ 有効性		Ⅲ 効率性		評価コメント								今後の方向性 事業コスト			
消費者保護啓発事業			必要不可欠		有効		変わらず		多様化する消費者トラブル、特殊詐欺に対応する必要性がある								現状維持 拡大			

[illegible]

施策評価シート	評価対象年度		2023年度	計画	3年目	この施策を記入する課等					市民課/消費生活・特殊詐欺被害防止センター											
	評価者	評価者	市民環境部長			担当者		市民課長			担当者											
基本目標	5	安全・安心で快適な生活と美しい自然環境がともにあるまち																				
基本施策	8	安全・安心で心穏やかに暮らせるまちづくり																				
施 策	19	総合戦略	地域安全活動の推進																			
施 策 の 目指す姿	地域ぐるみの見守り活動など地域のつながりを強め、市民・地域・行政が連携しながら犯罪を未然に防ぐまちを目指します。																					
SDGSとの関連	(目標)	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	水・衛生	エネルギー	経済成長・雇用	インフラ・産業化・イノベーション	不平等	持続可能な都市	持続可能な生産と消費	気候変動	海洋資源	陸上資源	平和	実施手段・パートナーシップ				
		1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 持続可能な消費と生産	4 質の高い教育をみんなに	5 男女平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 持続可能なエネルギー	8 持続可能な産業を創出しよう	9 持続可能な都市を創出しよう	10 人や国の不平等をなくそう	11 持続可能な都市を創出しよう	12 持続可能な消費と生産	13 気候変動に具体的な対策を	14 持続可能な海洋資源を確保しよう	15 持続可能な陸上資源を確保しよう	16 平和と公正な社会を築こう	17 パートナーシップで目標を達成しよう				
成果指標	指標名						単位	現状値(年度)		実績値		目標値(2025)		達成率	達成率の主な要因等							
	市内での犯罪発生件数						件/年	160 (2019)		145		108		74.5	前年は訪問盗の大量検挙により一時的に増加したもの							
	「防犯活動に取り組んでいる」人の割合						%	33.3 (2019)		38.7		50		77.4	防犯意識の向上や地域の防犯活動への参加人数が維持されているものと考えられる							
	特殊詐欺被害認知件数						件/年	2 (2019)		1					関係機関等による積極的な広報により詐欺の手法が認知された結果と考えられる							
プロセス指標	達成率評価	指標名						単位	現状値(年度)		実績値		目標値(2025)		達成率	達成率の主な要因等						
	A	青バトを活用した自主防犯パトロール巡回件数						件/年	60 (2019)		116		100		116	防犯パトロール協力団体や担当課による巡回の増加で、目標値に近づく実績となった。						
	A	防犯灯LED化率						%	46 (2019)		75.9		73		104.0	各町区の計画的な事業実施により着実に数値を伸ばすことができた。						
	C	防犯メールの登録数						人	2,953 (2019)		3,393		4,500		75.4	メール登録数の増加に向けた周知活動が必要である。						
施策に関連する主な事務事業の評価																						
事務事業名(◆実計)	Ⅰ 必要性		Ⅱ 有効性		Ⅲ 効率性		評価コメント										今後の方向性					
◆防犯対策事業	必要不可欠		有効		変わらない		防犯パトロールをはじめとした見守り活動等の定着により、地域での自主防犯意識が高まり、犯罪が起きにくいまちづくりとなるよう継続すべき事業である。										現状維持	現状維持				

## 施策の総合評価／今後の方向性


















<b>進捗状況</b> (ベンチマーキング)	● 施策の進捗状況(要因) ● 目標達成度	(施策の進捗状況) B:概ね順調	地域における防犯意識が浸透してきている。継続して、関係者と連携しながら取り組む。
<b>手段の最適性</b>	● 市が関与する必要性 ● 市民ニーズとの整合性 ● 目的への寄与度、貢献度 ● 事業内容・構成の妥当性	市民の安心・安全に大きな役割を果たす防犯活動は必須であり、地域や関係機関との連携と継続も必要である。 市民の安心・安全は、住民の基本ニーズである。 日常的な見守りやパトロールなどにより、市民の防犯意識の醸成を促すことで目的遂行に貢献する。 ソフト、ハード両面での事業内容により推進可能。	
<b>経営資源の配分</b> (優先順位づけ)	● コスト削減の方向性 ● 事業の重点化、重心的化	特にハード面での対応となる防犯灯のLED化が進んでおり、補助金額もピークを越えた模様	
<b>役割分担の妥当性</b>	● 共創のまちづくりに向けた多様な主体との連携、方向性	地域や関係機関と連携しながらの取り組みは必要であるが、取り組みに関する地域の温度差の解消が課題	
<b>SDGsの視点</b>	● 該当ゴールへ向けた方向性 ● 社会・環境・経済の調和	市民一人ひとりの防犯意識の醸成と地域におけるパトロールの実施により、犯罪が発生しにくいまちづくりを推進する	

## 「目標達成に向けた取組内容」の成果と今後の方向性

[illegible]

施策評価シート	評価対象年度		2023年度	計画	3年目	この施策を記入する課等												まちづくり課/道路河川課			
	評価者	評価者	まちづくり推進部長			担当者		まちづくり課長			担当者		道路河川課長								
	評価者	評価者																			
基本目標	5	安全・安心で快適な生活と美しい自然環境がともにあるまち																			
基本施策	9	快適で便利な都市基盤のあるまちづくり																			
施 策	20	総合戦略	土地の有効利用の促進																		
施 策 の 目指す姿	低未利用地や耕作放棄地の減少及び須坂長野東インターチェンジ周辺地区の有効な土地利用など、社会資本のストック効果が発現されたまちを目指します。																				
SDGSとの関連	(目標)	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	水・衛生	エネルギー	経済成長・雇用	インフラ・産業化・イノベーション	不平等	持続可能な都市	持続可能な生産と消費	気候変動	海洋資源	陸上資源	平和	実施手段・パートナーシップ			
		1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 良好な健康と福祉を達成	4 質の高い教育をみんなに	5 男女の平等をすすめる	6 安全な水とトイレを世界中に	7 持続可能なエネルギーを	8 持続可能な産業を	9 持続可能な産業を	10 人や国の不平等をなくそう	11 持続可能な都市を	12 持続可能な消費を	13 持続可能な気候変動を	14 持続可能な海洋資源を	15 持続可能な陸上資源を	16 持続可能な平和と正義を	17 持続可能なパートナーシップを			
成果指標	指標名						単位	現状値(年度)	実績値	目標値(2025)	達成率	達成率の主な要因等									
	市街化区域のうち、都市的土地利用の割合						%	88.4 (2019)	90.5	89	101.7	民間開発の宅地造成により実績値は順調に推移									
プロセス指標	達成率評価	指標名						単位	現状値(年度)	実績値	目標値(2025)	達成率	達成率の主な要因等								
	A	市街化区域内でおこなう1,000㎡以上の開発行為の累計面積						ha		7.7	8	96.3	民間開発の宅地造成により実績値は順調に推移								
施策に関連する主な事務事業の評価																					
事務事業名(◆実計)	I 必要性	II 有効性	III 効率性	評価コメント											今後の方向性						
◆地籍調査事業	高い	普通	変わらない	白滝8区の後半工程は、能登半島地震などの影響で年度内完了に至らなかった。県の認証は下りたが登記待ちとなっている地区が複数あり、法務局と相談しながら順に手続きを進める。											現状維持	現状維持					
◆調査・計画策定事業	必要不可欠	大変有効	変わらない	都市計画マスタープランに沿ってインター周辺地区をはじめとする秩序ある開発をすることが重要である。											現状維持	現状維持					


















[illegible]

施策評価シート	評価対象年度		2023年度	計画	3年目	この施策を記入する課等		水道局/生活環境課											
	評価者		水道局長		担当者		上下水道課長		担当者										
	評価者		市民環境部長		担当者		生活環境課長		担当者										
基本目標	5	安全・安心で快適な生活と美しい自然環境がともにあるまち																	
基本施策	9	快適で便利な都市基盤のあるまちづくり																	
施策21		安定的な上下水道の運営																	
施策の目指す姿		生活に密接する水道が、安心・安定して供給され、持続的に水量・水質が確保できるよう水源地の保全が図られているまちを目指します。																	
SDGSとの関連		(目標)																	
成果指標		指標名				単位	現状値(年度)		実績値		目標値(2025)		達成率	達成率の主な要因等					
		「上下水道の整備」の満足度				%	63.9 (2019)		66.6 (事業調査'23)		65		102.5	上水：安全・安心・安定して供給している 下水：峰の原地区以外は整備が完了している					
プロセス指標	達成率評価	指標名				単位	現状値(年度)		実績値		目標値(2025)		達成率	達成率の主な要因等					
	A	上水道の有効率				%	82.7 (2019)		84.4		85		99.3	漏水調査を実施して修繕している 老朽管の布設替を実施					
	A	下水道水洗化率				%	90.1 (2019)		91.9		92		99.9	下水道接続促進の周知 新築住宅の増加					
施策に関連する主な事務事業の評価																			
事務事業名(◆実計)		I 必要性	II 有効性		III 効率性		評価コメント						今後の方向性						
生活雑排水対策事業		必要不可欠	普通		変わらない		法令に基づく適正な事業実施行う。						現状維持 現状維持						
小規模水道施設維持管理事業		必要不可欠	有効		変わらない		安全で安定した事業の実施と、管理体制の見直しなど持続可能な小規模水道事業の検討をしていく。						現状維持 現状維持						
農業集落排水事業							事務事業評価なし、公共下水道へ統合						休止・廃止 皆減						
公共下水道事業							事務事業評価なし						現状維持 現状維持						

[illegible]

[illegible]











[illegible]

施策評価シート	評価対象年度		2023年度	計画	3年目	この施策を記入する課等										まちづくり課		
	評価者	評価者	まちづくり推進部長			担当者		まちづくり課長					担当者					
	評価者	評価者																
基本目標	5	安全・安心で快適な生活と美しい自然環境がともにあるまち																
基本施策	9	快適で便利な都市基盤のあるまちづくり																
施 策	23		安心で快適な住環境の促進															
施 策 の 目 指 す 姿	耐震化やバリアフリー化など市民のみなさんが快適で安全に暮らせる居住環境が整い、空き家が適切に活用されているまちを目指します。																	
SDGSとの関連	(目標)	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	水・衛生	エネルギー	経済成長・雇用	インフラ・産業化・イノベーション	不平等	持続可能な都市	持続可能な生産と消費	気候変動	海洋資源	陸上資源	平和	実施手段・パートナーシップ
																		
成果指標	指標名						単位	現状値(年度)		実績値		目標値(2025)		達成率	達成率の主な要因等			
	「安心で快適な住環境の推進」の満足度						%	23.4 (2019)		29.8 (意識調査'23)		25		119.2	安心で快適な居住空間が整いつつあるため。			
プロセス指標	達成率評価	指標名						単位	現状値(年度)		実績値		目標値(2025)		達成率	達成率の主な要因等		
	B	個人住宅の耐震補強補助件数						件	53 (2019)		57		60		95	耐震診断を実施しても、耐震改修工事に要する費用の増加や所有者の将来計画等から、耐震改修工事に結びつかない。		
施策に関連する主な事務事業の評価																		
事務事業名(◆実計)	Ⅰ 必要性		Ⅱ 有効性		Ⅲ 効率性		評価コメント										今後の方向性 事業コスト	
住宅防災対策事業	高い		有効		変わらない		浸水防止のため適正な維持管理が必要である										現状維持 現状維持	
市営住宅管理事業	高い		普通		やや向上		長寿命化計画を基に、人口減少等による利用者の状況を見ながらコスト意識をもって維持管理を進めていく。										現状維持 現状維持	
◆住宅・建築物耐震改修事業	高い		普通		変わらない		地震災害から市民の生命、財産を守るため、住宅等の耐震診断と補強の促進が必要である。										現状維持 現状維持	
◆空家対策事業	高い		有効		変わらない		空き家の所有者等に空き家の活用を促すため、広報等での空き家問題の周知や相談会を開催する等して空き家の掘り起しを図る必要がある。										拡充 拡大	
◆宅地耐震化推進事業	高い		有効		変わらない		大規模盛土造成地の変動予測調査を実施土質調査等の結果に基づき、滑動崩落による危険性の有無を調査した。今後も継続調査を実施していく。										現状維持 現状維持	
◆市営住宅長寿命化事業	高い		有効		変わらない		長寿命計画に沿って利用状況、経済性等を総合的に判断し、補助金の活用、用途廃止も含めて整備を行っていく。										拡充 拡大	

[illegible]



[illegible]















施策評価シート	評価対象年度		2023年度	計画	3年目	この施策を記入する課等													生活環境課	
	評価者		市民環境部長			担当者		生活環境課長					担当者							
	評価者					担当者							担当者							
基本目標	5	安全・安心で快適な生活と美しい自然環境がともにあるまち																		
基本施策	10	豊かな自然と調和する個性あるまちづくり																		
施策	25	自然環境の保全																		
施策の目指す姿	市民のみなさんが身近で自然にふれあい、自然保護の啓発や実態把握に努め、効果的な環境保全がすすめられているまちを目指します。																			
SDGSとの関連	(目標)	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	水・衛生	エネルギー	経済成長・雇用	インフラ・産業化・イノベーション	不平等	持続可能な都市	持続可能な生産と消費	気候変動	海洋資源	陸上資源	平和	実施手段・パートナーシップ		
																				
成果指標	指標名						単位	現状値(年度)	実績値	目標値(2025)	達成率	達成率の主な要因等								
	「環境にやさしい生活を実践している」人の割合						%	51.1 (2019)	46.6 (意識調査'23)	60	77.7	一人ひとりが自然に親しみ、環境保全に取り組んでいる。								
プロセス指標	達成率評価	指標名						単位	現状値(年度)	実績値	目標値(2025)	達成率	達成率の主な要因等							
	C	特定外来生物の駆除回数						回	5 (2019)	2	8	25	コロナ禍や護岸工事により、地区住民と実施する駆除活動が制限された。							
	A	希少生物の保全パトロール回数						回	4 (2019)	4	4	100	これまで蓄積した情報を活用して着実に実施している。							
施策に関連する主な事務事業の評価																				
事務事業名(◆実計)	Ⅰ 必要性		Ⅱ 有効性		Ⅲ 効率性		評価コメント										今後の方向性 事業コスト			

## 施策の総合評価／今後の方向性

進捗状況 (ベンチマーキング)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施策の進捗状況(要因)</li> <li>● 目標達成度</li> </ul>	(施策の進捗状況) C:やや遅れている	コロナ禍や護岸工事により、地区住民と協力して実施する駆除活動が制限された。
手段の最適性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市が関与する必要性</li> <li>● 市民ニーズとの整合性</li> <li>● 目的への寄与度、貢献度</li> <li>● 事業内容・構成の妥当性</li> </ul>	希少種の保全、特定外来生物の駆除は、市民にとって身近に感じにくい、安心安全な生活のためには取り組むべき課題である	
経営資源の配分 (優先順位づけ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コスト削減の方向性</li> <li>● 事業の重点化、重心的化</li> </ul>	環境の変化により、希少種の保全や特定外来生物の駆除の必要性がより高まる。関係機関と連携した事業が必要である	
役割分担の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 共創のまちづくりに向けた多様な主体との連携、方向性</li> </ul>	アレチウリ駆除やスギナモ保安は、地域や事業者の協力が必要。今後も継続した実施を図る	
SDGsの視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 該当ゴールへ向けた方向性</li> <li>● 社会・環境・経済の調和</li> </ul>	自然環境の保全活動により、安心安全で快適な環境づくりを図る	

## 「目標達成に向けた取組内容」の成果と今後の方向性

[illegible]

施策評価シート	評価対象年度		2023年度	計画	3年目	この施策を記入する課等												まちづくり課	
	評価者	評価者	まちづくり推進部長		担当者		まちづくり課長				担当者								
基本目標	5	安全・安心で快適な生活と美しい自然環境がともにあるまち																	
基本施策	10	豊かな自然と調和する個性あるまちづくり																	
施策	26	須坂らしい景観づくりの推進																	
施策の目指す姿	須坂の特徴的な自然の景観と、建物、看板、花壇など人工的な景観が調和し、美しく須坂らしい景観づくりや賑わいを創出するまちを目指します。																		
SDGSとの関連	(目標)	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	水・衛生	エネルギー	経済成長・雇用	インフラ・産業化・イノベーション	不平等	持続可能な都市	持続可能な生産と消費	気候変動	海洋資源	陸上資源	平和	実施手段・パートナーシップ	
																			
成果指標	指標名				単位	現状値(年度)		実績値		目標値(2025)		達成率	達成率の主な要因等						
	「良好な景観の保全と育成の推進」の満足度				%	39.8 (2019)		43.1 (意識調査'23)		46.7		92.3	景観計画や屋外広告物条例などに基づく施策展開による景観意識の向上。						
プロセス指標	達成率評価	指標名				単位	現状値(年度)		実績値		目標値(2025)		達成率	達成率の主な要因等					
	B	歴史的建造物の登録件数				件	40 (2019)		50		58		86.2	重伝建の指定に向けた取組等による住民意識の向上					
	C	動物園の年間入園者数				人	126,656 (2019)		126,996		150,000		84.7	イベントの実施状況や屋外施設であるため天候等に影響されやすい近年の猛暑による影響					
施策に関連する主な事務事業の評価																			
事務事業名(◆実計)	I 必要性	II 有効性	III 効率性	評価コメント										今後の方向性 事業コスト					
公園管理事業	高い	有効	変わらない	市民の憩いの場である公園の適切な施設整備、維持管理は必要である。										現状維持	現状維持				
◆花と緑のまちづくり事業	高い	有効	変わらない	潤いのあるまちづくり、魅力あるまちづくりにおいても必要な取り組みである。										現状維持	現状維持				
臥竜公園管理事業	必要不可欠	大変有効	向上	魅力ある公園・緑地を維持するため、遊具等の計画的な点検、修繕及び新設を行う必要がある。										拡充	現状維持				
◆臥竜公園施設整備事業	高い	大変有効	向上	市民の憩いの場である公園の適切な施設整備は観光誘客の面からも必要である。										現状維持	現状維持				
動物園管理運営事業	必要不可欠	大変有効	向上	来園者に親しまれ市民の憩いの場である動物園に多くの人に来てもらうように展示やイベント等を工夫しながら管理運営していくことが重要である。										拡充	現状維持				
◆動物園施設整備事業	高い	大変有効	向上	寄附をされた方の意向に沿って、施設整備を進めていく。										拡充	現状維持				
◆まちづくり推進事業	高い	有効	やや向上	重伝建の取組と連携した、須坂市の歴史と特色を活かしたまちづくりの推進が必要である。										現状維持	現状維持				
街なみ施設管理事業	高い	有効	やや向上	まゆぐら、しらぶじを住民同士の交流や観光客の場として、地域の活性化や賑わいの創出につながるようにすることが重要である。										現状維持	現状維持				
景観事業	高い	有効	変わらない	須坂市独自の「景観計画」及び「屋外広告物条例」により、地域の実情に応じた適切な景観の保全に努めていく必要がある。										現状維持	現状維持				

[illegible]

施策評価シート	評価対象年度		2023年度		計画	3年目	この施策を記入する課等					生活環境課									
	評価者	評価者	市民環境部長			担当者		生活環境課長			担当者										
	評価者	評価者				担当者					担当者										
基本目標	5	安全・安心で快適な生活と美しい自然環境がともにあるまち																			
基本施策	10	豊かな自然と調和する個性あるまちづくり																			
施策	27	循環型社会の推進と地球温暖化対策																			
施策の目指す姿	地球温暖化防止のための意識改革・生活様式の見直しがすすめられているまちを目指します。																				
SDGSとの関連	(目標)	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	水・衛生	エネルギー	経済成長・雇用	インフラ・産業化・イノベーション	不平等	持続可能な都市	持続可能な生産と消費	気候変動	海洋資源	陸上資源	平和	実施手段・パートナーシップ			
																					
成果指標	指標名					単位	現状値(年度)		実績値		目標値(2025)		達成率	達成率の主な要因等							
	地球温暖化防止を意識して生活している人の割合					%			49		60		81.7	市による広報等のほか、国や県及び各種メディアで積極的に広報活動がされている							
	循環型社会の推進を目指しリサイクルを意識している人の割合					%	75.5 (2019)		66.1		78.5		84.2	市による広報等のほか、国や県及び各種メディアで積極的に広報活動がされている							
プロセス指標	達成率評価	指標名					単位	現状値(年度)		実績値		目標値(2025)		達成率	達成率の主な要因等						
	A	一人一日当たりのごみの排出量					g	747 (2019)		711		741		104.2	啓発等の取組みにより目標を達成できた。						
	A	CO2削減のための補助件数（太陽光・太陽熱・ペレットストーブ等）					件	40 (2019)		85		40		212.5	予算拡大及び2023年度より蓄電システムを補助対象としたため。						
	A	マイバッグの持参率					%			84.1		80		105.1	啓発等の取組みにより目標を達成できた。						
施策に関連する主な事務事業の評価																					
事務事業名(◆実計)	I 必要性	II 有効性	III 効率性	評価コメント										今後の方向性							
ごみ減量・再資源化事業	必要不可欠	有効	変わらない	廃棄物減量・再資源化は、環境保全、資源保全、地球温暖化防止等のため、重要な施策であり、さらに推進が求められる。										拡充	現状維持						
廃プラスチック再資源化事業	必要不可欠	普通	変わらない	プラスチックの廃棄は年々増加すると言われ、今後さらに大きな課題となっていくことが考えられる。このため、5 R の推進等の施策を推進していくことが求められる。										拡充	拡大						
公衆トイレ管理事業	高い	有効	変わらない	町の環境衛生の向上のため、適正維持管理を行う。また、施設の老朽化等への対応を検討していかなければならない。										現状維持	現状維持						
狂犬病予防対策事業	必要不可欠	有効	変わらない	狂犬病予防法に基づく事業の適正実施をしていく。										現状維持	現状維持						
◆温暖化防止推進事業	高い	有効	変わらない	地球温暖化防止は喫緊の課題である。今後、事業推進のための新たな方途の検討が必要になる。										拡充	拡大						
し尿処理施設運営事業	必要不可欠	普通	変わらない	構成市として須高行政事務組合と連携し引き続き安定した処理を行う必要がある。										現状維持	現状維持						
火葬場施設運営事業	必要不可欠	普通	変わらない	須高 4 市町村、須高行政事務組合と連携し引き続き安定した運営を行う必要がある。										現状維持	現状維持						
◆広域ごみ処理推進事業	必要不可欠	大変有効	変わらない	地元振興事業の推進、地元と長野高域連合間の調整を行っていく。										現状維持	現状維持						
環境対策事業	必要不可欠	有効	変わらない	インター開発完了後の環境変化に適切に対応していく。また、関係法令の適正な実行をしていく。										現状維持	現状維持						
霊園管理事業	必要不可欠	有効	変わらない	適正に霊園管理をしていく。また、時代変化（承継者不明等の増加）に伴う対応の検討をしていく。										現状維持	現状維持						
◆霊園施設整備事業	高い	有効	やや向上	各霊園の適切な整備をしていく。										現状維持	現状維持						
ごみ収集事業	必要不可欠	有効	変わらない	適切な事業委託と事業実施をしていく。										現状維持	現状維持						
ごみ処理施設管理事業	必要不可欠	有効	変わらない	老朽化する施設の維持管理を図る。										現状維持	現状維持						
ごみ処理施設運営事業	必要不可欠	有効	変わらない	老朽化する施設の安定した運営と処理を図る。										現状維持	現状維持						
◆ごみ処理施設整備事業	必要不可欠	有効	変わらない	緊急指定避難場所整備に関する設計と事業実施のため準備をしていく。										現状維持	現状維持						

[illegible]